

# 横浜市立和泉学校 平成 28 年度 体育・健康プラン

## ～体育・健康に関する指導の全体計画～

### 1 中期学校経営方針

#### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○ 学校、家庭、地域がしっかりと手を結び、児童が安全、安心に過ごせる学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決学習を通して、児童が学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、自己の思いを豊かに表現できる子を育てます。</li> <li>・道徳の学習や、伝統的行事に取り組み、豊かな心を育みます。</li> <li>・体育的行事に取り組みながら健康的な身体を作ります。</li> <li>・学校・家庭・地域との「つながり」を大切にして、地域の中に生きる心豊かな子を育てます。</li> </ul>	

#### (2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

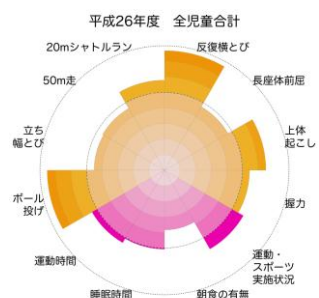
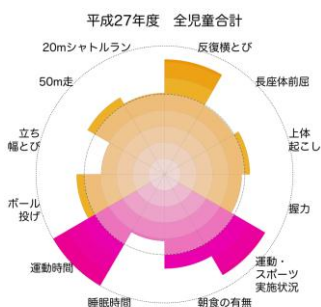
重点取組分野		取組目標	具体的取組
担当	体育部	<p>家庭と連携して、児童が規則正しい生活習慣を身につけていけるようにする。体育学習や休み時間を活用した体力向上を目指した取り組みを推進する。</p>	<p>①休み時間を使って、長縄大会、ドッジボール大会、全校鬼ごっこなどを開催し、児童が体を動かすことの楽しさを味わえるようにする。</p> <p>②特設クラブの活動を通して、児童が運動に親しみ、体力の向上を図れるようにする。</p> <p>③懇談会・学校保健委員会などにおいて保護者との連携を図り、規則正しい生活習慣が身につくようにする。</p>

### 2 体育健康に関する実態把握

#### (1) 体育・健康に関する実態

- ・運動に親しみ、日常的に運動を行っている児童が多い。
- ・特設クラブの活動により、定期的に体を動かし、体力を高めることができている。
- ・体力向上に対する意識の高い児童が多い。
- ・休み時間や放課後に外遊びを楽しむ児童が多い傾向にある。一方で、よく体を動かす児童とそうでない児童との二極化も見られる。
- ・早寝早起き、朝食の摂取、ハンカチの携帯などの規則正しい生活習慣、衛生面に対する意識は少しずつ高まってきている。

#### (2) 体力の概要と要因の分析（小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用）



・新体力テストの結果から、多くの種目で市平均を上回っていることがわかる。特に反復横跳びは大きく上回っている。また、シャトルランテストは、5・6年生で高くなっており、特設クラブの活動などの効果が表れていることが考えられる。運動意識が27年度特に高くなっている。

### 3 体育・健康に関する具体的取組

#### 教科

##### 《体育科・保健体育科での取組》

- ・体育科では、各学年の運動の系統性を意識したカリキュラムを実践し、児童が運動の楽しさや喜びを実感し、運動の日常化につなげられるよう体育学習の充実を図る。

##### 《他教科での取組》

- ・運動会を、体育学習を中心とした学習発表の場とし、目標に向かって友達と協力しながら活動できるようにする。また、目標達成の喜びを味わうことができるようにする。

#### 道徳・特活・総合

- ・「横浜の時間」では、地域との連携を図りながら食や環境の課題に取り組んでいけるようにする。
- ・学年の発達段階に応じた食教育の充実が図れるよう特別活動、保健学習、給食等において計画的に指導していけるようにする。
- ・児童が規則正しい生活習慣を身につけ、運動に親しんでいけるよう学校保健委員会の活動を充実させる。特に高学年では、児童が教師や校医、保護者とともに課題解決に向けて話し合う活動を設ける。

#### 課外活動

- ・特設陸上クラブやスーパー・タッチ・ボールクラブなどの活動を通して、心身ともに健康な体を作ることを目指す。

#### 平成28年度 和泉小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 逃走中・ドッジボール・長縄集会

《ねらい》 ○目標に向かって友達と協力して体を動かすことの楽しさを味わえるようにする。  
○休み時間を活用して継続的に体を動かし、体力を向上させるようにする。

《内容》 逃走中：全校児童参加型の鬼ごっこ  
ドッジボール：低・中・高ブロックごとのトーナメント方式の大会  
長縄集会：クラスごとに8の字跳びの最高記録に挑戦する。

●指 標： 取組後の各学級での振り返り、「満足感」「達成感」など